

ナニコレ！？研修(第1回)

セキュリティ意識が高まるボードゲーム型研修

2018.07.31

ともすれば受け身になりがちな社員研修に新たな動きが生まれている。受講者自身に考えさせる実践的な研修プログラムが増えているのだ。従来のイメージと違う、少し変わった研修を紹介する本連載。第1回は、組織全体のセキュリティ意識に気付きを与える「インシデント対応ボードゲーム」だ。

セキュリティは自分事にならない

数ある社員研修の中でも、セキュリティ研修は効果を出すのが難しい。最大の理由は、実際に被害に遭わない限り、セキュリティ対策を自分事として捉えにくいからだ。

例えば「メールに添付されたマルウェアを開いたら被害に遭った」「サイバー攻撃で数万件の個人情報流出した」という報道を見ても、「自分ならそんなファイルは開かない」「うちは中小企業なので、ハッカーから狙われる心配はない」と思いがちだ。

たとえセキュリティ研修を受けたとしても、その大部分は講義中心の座学やeラーニングだ。知識を得ただけで満足し、具体的な対策や意識改善につながらない場合が少なくない。中小企業の場合、IT専任者やセキュリティ担当者がいない企業も多く、組織的なセキュリティ研修の実施すら難しいケースもある。

こうした状況を打開すべく、参加型のセキュリティ研修として開発されたのが「インシデント対応ボードゲーム」(トレンドマイクロ提供)だ。インシデント(事件)が発生したときの組織対応をシミュレーションできるボードゲームで、プレイヤー自身がベストの対応を考え、他のプレイヤーと議論する必要がある。



「インシデント対応ボードゲーム」(トレンドマイクロ提供)。今回は見本を借りて体験したが、通常はPDFデータを自分で印刷して使用する

対応を間違えると“破産”もあるボードゲーム… 続きを読む